

【第7回アフリカ開発会議サイドイベント】

アフリカの未来の成長を支える電力セクターのイノベーション

国際協力機構（JICA）は、8月28日、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて、アフリカ各国でよりクリーンで安定的な電力へのアクセスを実現するための課題と可能性を議論するイベントを開催しました。

JICA 天野理事の開会挨拶に引き続き、ケニア発電会社のレベッカ・ミアノ総裁による基調講演では、ケニアが過去6年間で電源容量を3倍近く増大させ、特に日本も支援する地熱発電で大きな開発を行ってきたことが述べられました。日・アフリカ連合友好議員連盟会長代行の三原朝彦議員による基調講演では、2030年までに持続可能な開発目標（SDGs）ゴール7（全ての人々に手ごろで安定的で持続的なエネルギーを）を達成するために官民が力を合わせてイノベーションを起こしていく必要性について述べられました。

続いて、「アフリカにおけるエネルギー貧困の削減とよりクリーンなエネルギーへのアクセス向上に向けた日米協力覚書署名式」が実施され、アフリカ電力開発における日米の協力が確認されました。

パネルディスカッションでは、パネリストとしてウガンダエネルギー鉱物省のイリネ・ムロニ大臣、セネガル経済計画協力省のアマドゥ・ホット大臣、丸紅株式会社の小林氏、Wassha 株式会社の秋田氏、USAID Power Africa のアンドリュー・ヘルコウィッツ氏、JICA 産業開発・公共政策部の上石次長が登壇し、モデレーターの世界銀行スデシナ・バナルジー氏とともに、すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保するために、どのような革新的な手法が求められているか、一般の来場者も交え白熱した討議が行われました。

■本イベントの主な登壇者

【開会挨拶】

天野 雄介 JICA 理事

【基調講演】

Rebecca Miano ケニア発電公社総裁

三原 朝彦 衆議院議員／日本・アフリカ連合（AU）友好議員連盟会長代行

【パネリスト】

Irene Muloni ウガンダ エネルギー・鉱物大臣

Amadou Hott セネガル 経済計画協力大臣

小林 亮太 丸紅株式会社 電力本部海外電力第四部副部長

秋田 智司 WASSHA株式会社 代表取締役CEO

Andrew M. Herscowitz USAID Power Africa担当調整次官

上石 博人 JICA産業開発・公共政策部次長（資源・エネルギーグループ担当）

【モデレーター】

Sudeshna Ghosh Banerjee 世界銀行 エネルギー・鉱業グループ東部アフリカ プラクティスマネジャー

【閉会挨拶】

中村 俊之 JICA 産業開発・公共政策部部長

■写真



三原朝彦衆議院議員の基調講演



日米協力覚書署名式



パネルディスカッションの登壇者

■関連する SDGs ゴール :



●関連リンク

電気をアフリカの全ての人に！SDGs ゴール7 達成に向けた挑戦(2019年7月)

https://www.jica.go.jp/information/seminar/2019/20190724_01.html